



各 位

平成 20 年 6 月 11 日

会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社  
代表者名 取締役社長 遠 藤 窮  
(JASDAQ コード番号 6862)  
問合せ先 管理部長 石 田 順  
電話番号 (045)591-5611(代)

(訂正)「平成 20 年 3 月期 決算短信」の一部訂正について

平成 20 年 5 月 15 日に公表いたしました「平成 20 年 3 月期 決算短信」の一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所①】

1 ページ

1. 20 年 3 月期の連結業績（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）  
(3) 連結キャッシュ・フローの状況

[訂正前]

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
20 年 3 月期	<u>△69</u> 百万円	<u>△22</u> 百万円	△255 百万円	382 百万円

[訂正後]

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
20 年 3 月期	<u>△47</u> 百万円	<u>△45</u> 百万円	△255 百万円	382 百万円

【訂正箇所②】

5 ページ

1. 経営成績  
(2) 財政状態に関する分析  
②キャッシュ・フローの状況  
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

[訂正前]

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少 84 百万円、たな卸資産の減少 93 百万円、減価償却費 62 百万円等の増加要因がありましたが、税金等調整前当期純損失 119 百万円、仕入債務の減少 302 百万円等により、前連結会計年度に比べ 186 百万円減少し 69 百万円の支出となりました。

[訂正後]

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少 84 百万円、たな卸資産の減少 93 百万円、減価償却費 62 百万円等の増加要因がありましたが、税金等調整前当期純損失 119 百万円、仕入債務の減少 302 百万円等により、前連結会計年度に比べ 164 百万円減少し 47 百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

[訂正前]

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 26 百万円、定期預金の払戻ならびに預入による純収入 6 百万円等があり、前連結会計年度に比べ 83 百万円減少し 22 百万円の支出となりました。

[訂正後]

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 52 百万円、定期預金の払戻ならびに預入による純収入 6 百万円等があり、前連結会計年度に比べ 61 百万円減少し 45 百万円の支出となりました。

【訂正箇所③】

14 ページ

連結キャッシュ・フロー計算書

当連結会計年度

訂正箇所	訂正後	訂正前
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
：	：	：
：	：	：
その他	<u>23,581</u> 千円	<u>1,316</u> 千円
小計	<u>△18,490</u> 千円	<u>△40,755</u> 千円
：	：	：
：	：	：
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△47,198</u> 千円	<u>△69,463</u> 千円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
：	：	：
：	：	：
有形固定資産の取得による支出	<u>△52,784</u> 千円	<u>△26,219</u> 千円
有形固定資産の売却による収入	<u>4,431</u> 千円	<u>131</u> 千円
：	：	：
：	：	：
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△45,151</u> 千円	<u>△22,886</u> 千円

以上